

令和5年度教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の取り組み状況について

3-2 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

	令和5年度			
	1号認定及び 2号認定（教育希望）	2号認定	3号認定	
			0歳	1・2歳
① 量の見込み（必要利用定員）	811人	1,222人	153人	606人
②確保量	945人	1,338人	178人	639人
②－①	134人	116人	25人	33人
実績値	431人	1,468人	135人	683人

○1号認定及び教育希望の2号認定の実績値は、量の見込みや確保量より少なくなり、提供体制を確保できています。

○2号認定、3号認定の1,2歳児の実績値は、量の見込みや確保量より多くなりましたが、利用定員を弾力的に運用することで、提供体制を整えました。

4-1 利用者支援事業

<事業の内容>

教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡・調整等を行う事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和5年度
量の見込み	3 か所
確保量	3 か所
実績値	3 か所

○特定型（相談件数 2,248 件）

幼児保育課に専任職員を配置し、利用者が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、必要な支援を行いました。

○母子保健型（相談件数 1,193 件）

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制を構築しました。

○基本型（相談件数 168 件）

子育て支援課に相談員を配置し、こどもホットラインの電話番号の周知を行い、気軽に子育て相談ができる体制を構築しました。また、より身近なところで相談できるよう、子育て支援センターの事業で相談を受け付けました。

4-2 時間外保育事業

<事業の内容>

保育認定を受けた児童について、保護者の就労時間等により、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において保育を行う事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和5年度
① 量の見込み	18,720 人
② 確保量	18,720 人
②-①	0 人
実績値	17,965 人日

○私立認定こども園及び保育所 11 か所で受入れを実施し、量の見込みに対応した提供体制を確保しています。

4-3 放課後児童健全育成事業（学童保育所）

<事業の内容>

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図る事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

（全市）

	令和5年度
①量の見込み	978 人
（うち低学年）	724 人
（うち高学年）	254 人
②確保量	978 人
②－①	0 人
実績	870 人

（小学校区別）

	高砂	荒井	伊保	伊保南	中筋
①量の見込み	67 人	170 人	83 人	49 人	71 人
②確保量	67 人	170 人	83 人	49 人	71 人
②－①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
実績	73 人	115 人	87 人	43 人	50 人

	曾根	米田	米田西	阿弥陀	北浜
①量の見込み	143 人	137 人	97 人	130 人	31 人
②確保量	143 人	137 人	97 人	130 人	31 人
②－①	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
実績	104 人	122 人	109 人	129 人	38 人

〇量の見込みや確保量より実績が増えている校区については、小学校の余裕教室等を使用することでスペースの確保と受け皿の整備に努め、提供体制を確保できました。

4-4 子育て短期支援事業（ショートステイ）

＜事業の内容＞

保護者の疾病等の理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な養育・保護を行う事業です。

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

	令和5年度
① 量の見込み	94 人日
② 確保量	94 人日
②－①	0 人
実績	297 人日

○実績値が量の見込みや確保量より多くなりましたが、委託先13か所で提供体制を確保できています。

○現状で必要量を十分確保できる見込みですが、当該委託施設で対応できない場合は、他の施設に委託することを検討します。

○令和5年度より播磨同仁学院のショートステイ受け入れが困難となり委託できなくなりました。

○委託施設数の確保のため若草寮との契約を進め、令和5年度から委託できる状況を整えています。

【委託施設】

児童施設	施設名			
児童養護施設	若草寮 (朝来市)	立正学園 (加古川市)	広畑学園 (姫路市)	二葉園 (姫路市)
	東光園 (姫路市)	信和学園 (姫路市)	カーサ汐彩 (明石市)	ルピナス高砂 (高砂市)
乳児院	明石乳児院 (明石市)	ピューパホール (姫路市)	るり (姫路市)	くれよん (朝来市)
	聖和の杜 (淡路市)			

4－5 乳児家庭全戸訪問事業

＜事業の内容＞

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

	令和5年度
① 量の見込み	590 人
② 確保量	590 人
②－①	0 人
実績数	485 人

○現状で、提供体制を確保できています。

○保健師・助産師で訪問し、子育て支援に関する情報提供(乳幼児健診、育児教室、予防接種、離乳食のポイント等)を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境の把握をし、助言を行う体制を整えていきます。

○訪問を拒否する家庭については、地区担当保健師がフォローします。

○年1回、研修会を実施し、訪問スタッフの資質の向上に努めます。

4－6 養育支援訪問事業

＜事業の内容＞

支援が特に必要な家庭に対して、保健師・助産師等が居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、児童虐待の予防や子育て支援を行う事業です。

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

		令和5年度
①量の見込み	対象者数	98 人
	延べ訪問回数	570 人回
②確保量	対象者数	98 人
	延べ訪問回数	570 人回
②－①		0 人
実績対象者数		80 人
実績延べ訪問回数		専門的相談支援：70 人回 育児・家事援助：182 人回

○専門的相談支援は必要量を確保しています。

○育児・家事援助はヘルパー事業所3団体に委託し、提供体制を確保しています。

4－7 地域子育て支援拠点事業

<事業の内容>

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談・情報提供、子育てサークル等への支援、園庭の開放、育児講座等の事業を行い、地域の子育て家庭に対する支援を行う事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和5年度
①量の見込み	10,409 人回
②確保量	10,409 人回
②－①	0 人
実績数	7,394 人回

- 「高砂市北部子育て支援センター」は、令和6年4月に「高砂市西部子育て支援センター」として移転します。今後は、「高砂市子育て支援センター」と「高砂市西部子育て支援センター」の2か所を市直営で実施し、必要量を確保します。
- 利用者支援事業と連携を図りながら、子育て支援の充実をめざします。

4－8 一時預かり事業

①一時預かり事業（幼稚園型）

<事業の内容>

幼稚園において在園児を対象に、通常の教育時間の前後や長期休業中などに教育を行う事業です。

<令和５年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和５年度
量の見込み	28,223人日
確保量	28,223人日
実績値	25,690 人日

○私立認定こども園１０か所、公立認定こども園７か所、公立幼稚園１か所で、１号認定児童に対する一時預かり事業を実施し、１号認定児童の量の見込みに対応した提供体制を確保しています。

②一時預かり事業（一般型）

<事業の内容>

保護者の病気等により、家庭において一時的に保育を受けることが困難となった児童を保育所等で保育する事業です。

<令和５年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和５年度
量の見込み	1,543 人日
確保の内容	1,543 人日
実績値	2,680 人日

○実績値は、量の見込みや確保量を大幅に超えましたが、私立認定こども園及び保育所１０か所で受入れを実施し、提供体制を整えました。

4－9 病児保育事業

<事業の内容>

病気の児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を行う事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

	令和5年度
①量の見込み	1,218 人日
②確保量	1,218 人日
②－①	0 人
実績	1,557 人日

○令和5年度より生活保護法に定める被保護者世帯、市区町村民税非課税世帯を対象に利用料の減免を開始し、55件の減免を行いました。

○実績値が量の見込みや確保量を上回りましたが、病児保育室2か所で提供体制を整えました。

○今後の利用状況を見極め、医療機関や保育施設等への協力を依頼し、さらに事業の充実を図ります。

4－10 子育て援助活動事業（ファミリー・サポート・センター事業）

<事業の内容>

援助を受けたい人（依頼会員）と、行いたい人（提供会員）が会員登録し、会員相互間の援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

<令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値>

		令和5年度
①量の見込み	就学前児童	415 人日
	小学生	1,038 人日
	合計	1,453 人日
②確保量		1,453 人日
②－①		0 人日
実績		1,276 人日

○現状で提供体制を確保できています。

4-11 妊婦健康診査事業

＜事業の内容＞

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

	令和5年度
① 量の見込み	885 人
② 確保量	885 人
②－①	0 人
実績	579 人

○現状で、提供体制を確保できています。

4-12 実費徴収に係る補足給付を行う事業

世帯の所得状況等を勘案して、市が定める基準に基づき、特定教育・保育施設等に支払うべき日用品や文房具その他教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

＜令和5年度における「量の見込み」・「確保量」と実績値＞

		令和5年度	
		対象者数 (副食材料費)	対象者数 (教材費等)
量の見込み		—	—
確保量		—	—
実績値	1号	1 人	5 人
	2号	0 人	14 人
	3号	0 人	6 人

○計画策定時には制度内容を踏まえて検討し、実施するとしており、量の見込み及び確保量については未設定でしたが、生活保護世帯等を対象に、特定教育・保育施設等が徴収する保護者の実費負担に対して助成しました。